

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 27 年 3 月 2 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470204276		
法人名	有限会社ネクストライ		
事業所名	グループホームきらら		
所在地	広島県広島市中区千田町2丁目8-22 (電話) 082-545-5255		
自己評価作成日	平成27年2月2日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=3470204276-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成27年2月23日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

今年度より、地域社会資源との交流に力を入れており、毎月1回近隣の保育園の園児とグループホーム入居者との世代間交流を行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は平成15年開設のグループホームであり、平成24年に現在地に移転し運営している。事業所の周辺は医療機関や公園、ショッピングセンターなど生活に便利であるにもかかわらず、幹線道路から中に入っているため比較的静かな環境である。

利用者が「外に出たい」「買物に行きたい」という希望をかなえるため、近所の公園やスーパーマーケットに職員の付き添いで出かけるなど、利用者が「その人らしく」生活するために、「断らない」介護を心がけている。

母体法人は薬局を運営しているため、薬の管理においても専門的な対応ができるほか、職員を外部研修に積極的に派遣させている等、職員教育にも力を入れている事業所である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念「その人らしさを大事に日々明るく楽しく」 毎月の会議始めに職員で理念の唱和を行い理念に沿ったケアサービスが提供できるよう努めている。 また、職員の目に入る所に掲示し確認している。	事業所の理念「その人らしさを大事に日々明るく楽しく」を実現するために、職員からの提案が実現できるように、管理者やケアマネ、担当職員が一緒になって外出などの企画を考え、実行している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域のスーパーへの買い物や公園での散歩、今年度からは近隣の保育園との交流会を毎月1回行っている。 運営推進会議にはなかなか地域の方々の参加を得られていない。	地域の清掃活動への職員の参加や、地域行事へ利用者と共に参加したり、日頃から地域住民にあいさつすることを心がけている。また、近隣の保育園との交流を毎月1回行い、交流を深めるなどの取り組みがなされている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	福祉キャリアセンター実習生の施設見学の受け入れ。 地域の社会資源である近隣の保育園とグループホームの交流により、世代間交流の機会を設ける取り組みを行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	利用者の状況やサービス内容を伝え、意見をいただいている。 助言を参考に更なる取り組みにつなげている。	定期的に運営推進会議を行い、近隣のグループホーム管理者にも出席してもらい、ボランティアの情報や勉強会など、相互研鑽を深めている。また、会議を行うたびに町内会長や民生委員にも声かけを行い、事業所の活動の理解と協力を求めるようにしている。	町内会や民生委員に出席してもらうために、現在も行っている参加への声かけを今後も継続的に行い、地域からの意見として事業所の運営に反映できるよう、働きかけを強化することが期待される。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議への案内や参加、会議報告等を行っている。 運営等について確認をしたいことや相談事がある際は連携をとっている。	市の担当者には運営推進会議の議事録を毎回送付しているほか、地域包括支援センターからの情報提供を利用者や家族に伝えること、認知症アドバイザーとして講師を派遣するなど、市との連携に努め、協力関係を築くような取り組みがなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束は行わない取り組みをしている。（マニュアルの見直し、ミーティングでの協議）</p> <p>ただ、フロアの施錠を階段があるため行っている。また、玄関の施錠も道路に面しているため施錠している。</p>	<p>介助の工夫を行い、職員配置や家族の協力も得ることで、身体拘束は行っていない。身体拘束防止のためのマニュアルも整備し、職員の研修も行われている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>ミーティングでのマニュアルを使用した勉強会を実施し、学ぶ機会を持った。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>ミーティングにて勉強会を実施し、学ぶ機会を持った。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には丁寧な説明を行い、随時不安点や疑問点を伺い、対応説明している。納得されたうえで契約を結んでいる。介護報酬改定時には説明し、同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>事業所玄関へ意見箱を設置しご意見をいただけるよう仕組みを作っている。また、面会時に面会簿を記入していただきシート内にご意見・ご要望欄をもうけている。</p>	<p>面会時に家族から直接意見を聴取しているほか、受けた意見は申し送りノートに記入され、管理者が確認しているほか、面会簿に意見を記入する欄を設けることで、多くの家族の意見を集めることができている。家族からの意見によりテレビ録画を行い利用者に見てもらうなど、実際の運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	全体会議にて運営に関する職員の意見を聞く機会を設け、必要に応じて反映させている。	全体ミーティングを月に1回行い、職員から聞き取りを行っている意見は、管理者やケアマネジャー、ユニットの責任者を通じて事業所の運営に反映している。納涼祭の開催などイベントの企画や、水分補給の方法など、具体的な改善に結び付けている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	勤務表作成時は各々の希望休日を聞き、反映した勤務表を作成している。研修参加によるスキルアップ支援（研修費用は会社負担）に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	内部研修、外部研修には積極的に参加を促している。連絡ノートを活用し研修の案内を随時閲覧可能にしている。参加希望があれば勤務調整のうえ参加できるようにしている。また、研修参加後は研修報告をミーティングにて行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	グループホーム事業者交流会に参加している。研修会への参加や活動への参加をしている。（管理者は役員として参加）		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	アセスメント作成時には、ケアマネジャー・管理者が本人・家族・関係者より要望等を伺い、ケアプランへ反映させている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居説明や契約時、アセスメント作成時にはケアマネジャー・管理者が本人・家族・関係者より要望等を伺いケアプランへ反映させている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>必要時には、他施設の紹介やその他ご相談に応じ対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>利用者様には出来る限り出来る事は自身で行ってもらうようにしている。食器洗いや洗濯物干しや洗濯たみ等利用者様それぞれが活躍できる場を提供させていただいている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族様には適宜本人様のご様子を伝え必要に応じて来設していただいている。毎月手紙にて近況報告や施設案内をしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>面会は特段のことがない限り制限せずしていただいている。利用者様の要望により外出支援をしたりしている。</p>	<p>入居前の知人からの面会希望があれば支援したり、本人が「兄弟に会いたい」という要望には、家族にアプローチしているほか、クリスチャンの利用者には、神父を呼んで部屋で賛美歌を歌ってもらうなど、利用者の馴染みの人との関係継続のための支援がなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>利用者様同士の関係性を職員が理解し、より良い関係性の構築ができるようフォローしている。協議はミーティングにて行っている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>相談等いつでもお受けいたしますと契約終了時には案内をさせていただいている。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>介護計画書更新時にはもちろんのこと、本人様のADLが変化した場合等、随時意向を伺えば、再アセスメントしている。意向を伺うことが困難な場合は、生活歴や家族様関係者より情報提供していただき、推測にてケアプランを立案している。</p>	<p>入居時のアセスメントのほか、日頃から本人の思いや意向の把握を行っている。また、入居前の担当ケアマネジャーに確認したり、家族に本人の思いや意向を確認するなどしている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>アセスメント作成時にケアマネジャー・管理者が、本人・家族・関係者より、生活歴等伺い把握している。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>日々の健康チェックや状態観察により、現状把握に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ケアマネが中心となり、本人・家族・関係者等々の意見を反映させ、介護計画を作成している。</p> <p>毎月評価を行い、現状に即した介護計画となっているか、見直しをしている。</p>	<p>ケアマネジャーが中心となり、担当者、フロア長、訪問看護師や医師に確認しながら介護計画を作成し、評価も毎月行っている。ケアプランにおけるサービス内容を、日々の介護チェック表に盛り込むことで、チームで介護計画を日々振り返りながら介護を行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個人記録に気になることや変わり等は記録している。</p> <p>職員の共有情報は申し送り表の活用にて行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>必要に応じて他サービスの利用につなげている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>近隣住民の来訪や保育園との交流により地域の社会資源と協働している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>主治医の確認や意向を入居契約時には行い、反映させている。</p> <p>また、適宜関係各所と連携をとり、適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	<p>入居時にそれまでの主治医か、ホームの協力医かを選択することができる。協力医による定期的な訪問診療があり、それまでの主治医や専門医に受診する場合は、家族に対応してもらっている。受診後の状況は記録に取り、医療との連携に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>毎週1回の訪問看護により、健康管理や相談事を専門的視点から助言・対応をいただいている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院時は入院先のソーシャルワーカーはもちろんこと、家族様との連絡を定期的に行い、再入居に向けて準備している。また、定期的な面会にて、情報を病院関係者よりもらっている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>主治医や訪問看護師、家族と相談・確認しながら、随時対応している。また、連絡ノートや申し送り表にて職員間の情報共有を行っている。</p>	<p>入居時に重要事項説明書の中で家族に説明し、実際に重度化した場合には書面で家族の意思を確認している。終末期の支援として、主治医や訪問看護師に頻回に来てもらうことで、看取りを実施できている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>緊急時の対応についてはマニュアルを作成し、緊急時にはマニュアルを参照し、落ち着いて対応できるよう整備している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回の消防訓練を行っている。警備会社や近隣住民にも緊急時は協力いただけるよう声かけをしており町内会長より承諾いただいている。</p>	<p>年に2回消防訓練を行っているほか、警備会社の支援や近隣住民の理解も得ている。消防署の職員に事業所に来てもらい、実際に避難訓練や火災予防のための指導を受けている。出火から避難誘導、消火訓練も行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	プライバシー保護についての勉強会をミーティング時に行っている。 また、接遇チェック表を使用し職員個々が自身の接遇について見直しをしている。	ミーティングや勉強会において、プライバシーの保護のためのマニュアルや個人情報保護のための規定を整備している。 また、接遇チェック表を用いて、自己評価したものを管理者が考課するなど、一人ひとりの人格の尊重に向けた取り組みがなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の思いや希望はできる限り引き出し、自己決定できるよう声かけをしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務優先になることもあるが、利用者様に寄り添い各々のペースで過ごせるよう支援している。 食事の時間や入浴の時間をずらしたり、早めたりして対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎日着る服の選択や整容等できることは本人様にしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	軽作業（皮むきなど）やお茶の準備、買い物等、残存能力を活かしつつ楽しい食事となるよう職員が声かけをしながら食事時間を演出している。	利用者に皮むきなどを手伝ってもらったり、お茶の準備、買物にも同行してもらっている。利用者の好みは、日頃のアセスメントにより食材の変更などを行っている。また、管理栄養士の立てた献立を、それぞれのユニットで調理を行うことで、食事の準備の音やにおいを感じてもらおうようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	業者を通じて栄養士作成の献立に基づき、食事の提供を行っている。利用者様個々に水分の促しや食事量、形態の調整を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後に口腔ケアの声かけを行い、促している。また、自力で困難な方には職員が介助している。希望者には訪問歯科を調整し、診ていただいている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	定期的な声かけやトイレ誘導により、排泄を促している。排泄時間を記録し、誘導時間に反映させている。	利用者の個別の記録に、バイタルチェック表、おむつ交換、パット交換などの記載をしている。その結果、病院から退院してきた利用者がおむつの状態であっても、薄手のリハビリパンツへ変えるなど排泄の自立支援のための取り組みがなされている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	水分摂取や運動を促し自然排便できるよう取り組んでいる。排便コントロールについては、主治医や訪問看護師と連携して行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴日は基本的には週3回曜日を固定しているが、利用者の希望があれば入浴をできるだけ行っている。また、希望の時間に浴うよう調整をしながら、入浴を行っている。	曜日を決めて午前、午後に入浴してもらっているが、希望があれば臨時で入浴することもできる。利用者の希望により、熱め、ぬるめ、長めなどの対応を個別に行うなど、入浴を楽しむことができる支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>時間にとらわれず、利用者様が自宅で生活していた習慣リズムで、施設でも過ごしていただけるよう支援している。利用者様とよく話をすることで、希望に沿えるよう、食事の時間帯をずらす等により調整している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬剤師による薬の管理を行っており、安全な服薬を提供している。症状等の変化があれば、主治医、訪問看護と連携し対応している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>毎月の行事や日々の散歩、買い物の外出等で、気分転換をしていただけるよう支援している。洗濯物干しや食器洗い等、個々の残存能力を活かし、施設で役割を持った生活を送って頂けるよう取り組んでいる。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>その日の希望や認知症状（周辺症状）により随時散歩や買い物等支援している。季節感を味わっていただけるような外出行事を定期的に企画し、実施している。外出が難しい利用者に向けては、地域の保育園児との交流機会を設けている。</p>	<p>公園やスーパーマーケット、喫茶店など、近隣に外出できる場所が豊富なため、利用者一人ひとりに介助者がついて外出している。また、外出行事の企画を行っている。希望する利用者は外出でき、ケアプラン上にも位置づけられている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>お金については原則、家族・施設での管理をお願いしている。認知症状や利用者様の希望により、自身で所持されている方もおられる。必要時は、随時金庫より出金している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人希望がある際は、家族への電話や手紙を準備している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節に応じた掲示や装飾を行い、季節感を演出している。 室温は25度、湿度は40%以上を保てるよう調整をしている。 ソファを多く配置し、くつろげるよう配慮している。</p>	<p>共有空間には飾り付けがたくさんあり、くつろげるソファも置いてあるほか、生け花もある。感染症対策も兼ねて湿度にも気を配り、白熱灯を使用することで、くつろげる穏やかな空間づくりがなされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>食事時以外は、利用者様の所定位置は作らないようにしている。 個々の好きな過ごしやすい場所で、くつろいでいただけるよう配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居契約時には、今まで使ってこられた慣れ親しんだものを持ち込んでいただくことを勧めている。</p>	<p>原則、居室には物品の持ち込みは自由であり、古いタンスや仏壇など、利用者の馴染みのものを持ち込むことができるように配慮がなされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>手すりの配置や環境整備により、利用者が安全に過ごせるよう配慮している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームきらら

作成日 平成27年4月1日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議へ参加をお願いするも地域の方々になかなか参加して頂けていない。地域の方々の事業所に対する具体的な評価が分からない。	運営推進会議へ地域の方々に参加して頂き、地域との意見交換により、事業所の運営改善へと反映させる。	参加への声かけは継続しながら、地域清掃活動や地域行事のお手伝いをさせて頂き、事業所への理解を深めて頂く。 毎月第一日曜日の清掃活動へ参加していくことを町内会長と協議済。	1年間
2					
3					
4					
5					
6					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。